

東京川西会

アルカディアの里
会報



会報100号発行に当たって

東京川西会々長
森田光雄

(大塚)

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、一昨年の能登半島のような大規模な灾害はありませんでしたが、大船渡の森林火災や大分の住宅火災など、12月には青森を中心に大きな地震が発生し被害をもたらしました。その他にも大島の土砂災害など、異常気象による被害が各地で発生しました。

また、年末に発表された今年の漢字「熊」の被害も大きく取り上げられました。今年は午年です。その駆ける姿から行動力・エネルギーに満ちた年といわれていますが、何よりも災害の少ない穏やかな年となることを願っています。さて、東京川西会の行事ですが、

芋煮会が中止となりました。野外での行事のため天候に左右される面は否めませんが、ここ数年中止の回数が増えているようを感じている方が多いと思います。開催場所についていろいろと検討しましたが、あの人数の規模で開催できる場所が都内ではなく、代替地が見つからない状況です。

10月、川西町誕生70周年記念式典に出席させていただきましたが厳かな中にも新旧の街並みの映像上映、記念演奏、子供たちによる合唱などが組み込まれ、硬軟織り交ぜた素晴らしい式典であつたと感じています。

さて、本号は昭和62年6月に創刊されてからちょうど100号に当たります。創刊号は黒澤会長、米野事務局長（現顧問）の下で年一回の発行でしたが、翌々年から年2回発行となっています（その後3回）。

創刊号の中でも、東京川西会への期待として、各界の方々から思いが寄せられていますが、当時の横沢町長のご挨拶で、町づくりのために町民の自助努力はもちろんですが、町外でご活躍をいたしている会員の皆様とのお互いの情報交換を進めながら、ふるさとの活力ある町づくりの

ために特段のご協力とお力添えをお願いしたいと述べられています。当会会則の目的にも、会員相互の親睦融和を図るとともに、郷土との情報交換を密にし、その発展に寄与することが明確に掲げられています。私たちの心の中には「いつもふるさと川西町」があります。今後ともこの目的に沿って、活動を続けてまいりますのでご理解とご協力をお願いします。

今回、

初めての試みとして田舎の方言を掲載しています。役員会を年数回開催していますが、方言の話題になると話が盛り上がります。

昔使っていた言葉は今になつても懐かしく、なかなか普段の生活では表に出し難いものですが、気兼ねなく何でも話せるような場が、当会の存在意義の一つかとも言えます。

掲載した方言の中で、地域によつてこんな言い方はしないとか、他にもあるとか情報を寄せください。これがきつかけとなつて方言に限らず皆さんから投稿したいことがあります。事務局にご一報ください。なお、皆さんからの情報によつては、第2弾の掲載も考えています。

ご存じの通り、当会はボランティア精神を基本に活動していますので今後とも会員の皆様方の行事への積極的な参加をお願いします。

新年あけましておめでとうございます。



新年の挨拶

川西町長
茂木晶
(小松)

結びに、今年一年が皆様にとりまして健康で充実した素晴らしい年にになりますようお祈り申し上げます。

ははじめ、会員の皆さまと町内外において有意義な交流をさせていただきました。あいにくの雨天により、いつも煮会で皆さんとお会いすることは叶いませんでしたが、会員の皆さまには、離れていてもなお川西町を想い続けていただいていることに改めて感謝申し上げます。

また、町といたしましては、町制施行70周年の節目の年を記念し、記念式典をはじめとした川西町の魅力を再確認する様々な行事を実施して

まいりました。今日の川西町を築き上げてきた先人たちのご労苦とご功績に深く感謝するとともに、これから川西町の未来への期待が膨らむ一年となつたように思います。

さて、今年の4月からは、これまで推進しておりました本町の最上位計画であります「第5次総合計画」

が一区切りとなり、新たに「第6次総合計画」に則った事業展開が始まります。「第5次総合計画」を評価、検証する中で見えた課題や、今後の川西町の将来を見据え注力すべき点を改めて整理し、町民の方々が「川西町に住んでいて良かった」と思えるようなまちづくりを進めてまいります。

また、旧庄舎跡地への建設を進めておりました川西まちなかテラス「まちりあ」につきましても営業開始を5月に予定しており、町内にぎわいづくり、地域の活性化を進めていく下地が着々とできあがりつつあります。施設整備を皮切りに新たな試みにチャレンジする機運が町民一人ひとりに浸透し、地域全体が盛り上がりを見せることを期待するところです。

2026年の干支は「丙午（ひのえうま）」です。情熱や勢いが高まり太陽のようにエネルギーが満ち溢れる年であり、大きな飛躍のチャンス

の年とのことです。昨年のように新たなことにチャレンジする情熱を今年も変わらず持ち続け、町民の皆さんながら川西町がますます発展するよう尽力してまいりたいと思います。会員の皆さんには、変わらずのご支援、ご協力を賜れば幸いです。

結びに、貴会のますますのご発展並びに会員の皆さん方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

ただ、10月25・26日に予定されていた川西会の芋煮会は天候不良で中止となつたのが残念でなりません。本年の開催を心待ちにしております。今後も東京川西会の皆様との交流を一層深め、魅力あふれる川西町の発展に努めてまいりたいと存じます。

結びに、東京川西会のご繁栄と皆様のご健康、ご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶



川西町議会議長
鈴木 幸廣
(中郡)

新年明けましておめでとうござい

新年のご挨拶



川西町副町長
島貫 啓一
(大川)

新年あけましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆さんにおかれましては、夏まつりや黒べこまつり、川西町制

やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、常日頃より故郷・川西町への温かいご支援を賜り、心より深く感謝申し上げます。

さて、昨年は本町の町制施行70周年という節目の年であります。様々な記念の催しが開催され、8月10日の川西夏まつりでは、各団体によるダンス、アーティストの出演、

四季折々のおもてなし
川西町浴浴センター

Tel 099-0121 山形県東置賜郡川西町大字上小松5095番地36
Fax (0238) 42-4126

<http://www.k-madoka.co.jp/>

まどか

川西ダリヤパークゴルフ場
4コース 36ホール



川西町観光交流協会会長
本間 芳弘
(小松)

新年のご挨拶

川西町の人口が年々減少している中、減少を抑えることが一番の対応策ではありますが、町外における川西町との関係者を増大させ、町外から人呼び込み循環を促すということが、地域の活性化という面で重要なことと捉えております。

会員の皆さまには変わらずの交流をお願いするとともに、皆さまそれに「川西町の広告塔」として町外の方々に川西町をアピールいただきことをお願いしたいと思います。

結びに、貴会のますますのご発展と会員皆さま方のご健勝をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

70周年記念式典など、様々な行事の折に川西町へ足をお運びいただき、絶えず交流を継続していただいていること、大変ありがたく思っております。

また、皆さまには、川西町へのふるさと納税の面でも多くのご支援をいただいていると伺っております。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

川西町の人口が年々減少している中、減少を抑えることが一番の対応策ではありますが、町外における川西町との関係者を増大させ、町外から人呼び込み循環を促すということが、地域の活性化という面で重要なことと捉えております。

会員の皆さまには変わらずの交流をお願いするとともに、皆さまそれに「川西町の広告塔」として町外の方々に川西町をアピールいただきことをお願いしたいと思います。

結びに、貴会のますますのご発展と会員皆さま方のご健勝をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

有難うございました！

まだまだ寒い時期が続きますが、体調に十分お気をつけて、またお会いできればありがたいです。

皆様、新年あけましておめでとうございます！

そして、『東京川西会会報100号』まことにおめでとうございます。

昨年は町誕生70周年を記念する年などで何かとあわただしい年がありました。東京川西会の役員の方々には、沢山の記念式に参加していました

だきありがとうございました。

ここ近年、暑い夏が続きますが、春から雨が少なく『ダリヤ園』のダリヤの生育にも影響が出てしまい、3回も植え替えをするほど植物には厳しい1年だったようです。しかし、9月末から10月にかけては例年通りに見事な『ダリヤ園』になり一安心したところです。

私事ではありますが、昨年は東京に(町田市ばかりではありませんが)

新年明けましておめでとうございます。

東京川西会会報が記念すべき第100号を迎えること、心よりお慶び申し上げます。長年にわたり故郷川西町と首都圏を結ぶ懸け橋として、会の発展にご尽力された歴代の役員・会員の皆様に深く敬意を表します。



川西町商工会長
寒河江 輝文
(吉島)

新年のご挨拶

信頼を基に地域を開発する



〒999-0121
山形県東置賜郡川西町大字上小松1736-2
電話 (0238)46-2020 Fax (0238)46-2022
E-mail:kawanisi@shokokai-yamagata.or.jp

～ようこそ、ダリヤの里かわにしへ～



川西町観光交流協会

〒999-0121 山形県東置賜郡川西町大字上小松1624番地6
TEL(0238)54-1515 FAX(0238)54-1516

の連携を重視し、広域交流の視点を大切にしながら、地域経済の活性化と会員企業の強みを活かした取組支援に努め、川西町ならではの魅力を創出してまいる所存です。

東京川西会の皆様には、引き続き様々な交流を通じ、故郷の応援団として温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。本年も皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。

東京川西会の皆様におかれましては、健やかなる新年をおむかえしたこととお慶び申し上げます。

昨年は、山形県内において高温少雨が続き、梅雨の降水量が平年の3割程度の雨量と、最高気温が35度以上となる猛暑日が続きました。基幹作物である「米」の栽培において、一部地域では用水の確保が難しくなる圃場も発生するなど、栽培管理に苦慮した年でした。



山形おきたま農業協同組合
川西経済支店長
渡部 正志
(大塚)

新年のご挨拶

東京川西会の皆様には、引き続き様々な交流を通じ、故郷の応援団として温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。本年も皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

東京川西会の皆様には、引き続き様々な交流を通じ、故郷の応援団として温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。本年も皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

猛暑の影響などから令和5年産米の流通量が減り、令和6年夏にステークスから米が消える事態となつた「令和の米騒動」を経て、今年に入つてからの銘柄米5キロ当たり平均価格は4千円台が常態化。東京や首都圏にお住いの「東京川西会」の皆様も価格高騰に戸惑つているものと考えます。また、米離れにつながるのではと心配しているところです。

本年も農業協同組合として「安全で「安心」な川西町の農畜産物を「安定」的に皆様にお届けするため、日々努力を重ねて参りますので、「JA山形おきたま」の農畜産物を末永くご愛顧下さいます様お願い申し上げまして新年のご挨拶と致します。

令和7年11月22日及び23日の2日間、東京都町田市内の「町田薬師池公園 四季彩の杜 西園」を会場に、今年も「山形かわにしの暮らし展」を開催いたしました。パネル展示による川西町紹介コーナーや芋煮、玉こんにゃく、新米などの販売のほか、昨年好評を博した来場者参加型の『玉こんにゃくグランプリ』を、今年は回数を拡大して開催するなど、大盛況のうちに終了することができます。

▼「山形かわにしの暮らし展」大盛況！

令和7年11月22日及び23日の2日間、東京都町田市内の「町田薬師池公園 四季彩の杜 西園」を会場に、今年も「山形かわにしの暮らし展」を開催いたしました。パネル展示による川西町紹介コーナーや芋煮、玉こんにゃく、新米などの販売のほか、昨年好評を博した来場者参加型の『玉こんにゃくグランプリ』を、今

ました。ご来場いただきました皆様に深く感謝申し上げます。





米沢牛



お米



さくらんぼ



デラウェア

おきたま、うます！

山形おきたまの「うます」をお届けします！

JA山形おきたま ふるさと宅配便で検索！

<http://furusato-okitama.jp/>

TEL 0238-46-3111 / FAX 0238-46-3335

▼オーダーメイド型雪国体験ツアー

「大人の冬休み」を実施します

お好きな日時・体験を選んで行程を組み立てるオーダーメイド型雪国体験ツアー「大人の冬休み」を、今年も令和7年1月24日から2月15日までの期間で実施いたします。

スノーシュートレッキングなどの冬のアクティビティをはじめ、郷土料理づくりや酒蔵見学など冬の川西町を体験できる内容となっておりますので、ぜひお知り合いの方をお誘い合わせのうえ、ご参加ください。

○お問合せ：川西町観光交流協会

0238（54）1515

山形かわにしの暮らし展に 参加して

事務局報告

川西町と町田市は、お互いに交流都市であり、災害時相互応援協定を締結している重要な関係にあります。そこで開催される川西のイベント

ですから覗いてみたいのですが、私は住む埼玉県上尾市から会場の町田薬師池公園は交通の便が悪く、これまで参加を諦めきました。しかし今年は、恒例のいも煮会が中止となつたため、故郷の味を求めて遠征してきたのでした。

車で行く方が早いのでしようが、

それでは地酒を頂くことができません。新宿でJRから小田急線に乗り換え、町田駅でバスに乗り換えて30分、ほぼ3時間かけてようやく到着することができました。

会場に入つて驚いたことは、お祭り会場のように広大な用地を借り切つて、川西一色で運営されていたことです。町田市の行事の一角に小さい店を出させてもらつて、と勝手に想像していたので、川西町を丸ごと持ち込んだ取り組みに感動してしまいました。

会場に到着すると、玉こんにゃくを串に刺すスピードを競う「玉こんにゃくランプリ」の真っ最中。参加費五百円で玉こんにゃく、優勝賞品は米沢牛とのことなので参加したかったです。ですが、午前の部の受付は終了したことなので諦めました。

会場には神野顧問が大勢のご家族と見えており、盛り上げの一役を買っておられることに内心「さすが顧問」と舌を巻きました。

私も負けじと販売ブースの各テン

がとうございました。



2025/11/22

折角の機会なので園内を散策して帰りましたが、さすが「日本の歴史公園百選」、秋を堪能してきました。



2025/11/22

**農家発!! 愛情たっぷり
杵つきもち**

(有)大塚もち加工センター

TEL:0238-42-5159 FAX:0238-42-5336

〒992-0601 山形県東置賜郡川西町大字西大塚1267-7

地元直産

研修会・忘年会のご報告

事務局報告

去る12月6日、年末恒例の「第57回研修会・忘年会」が、今年も新橋駅近くの中華・新橋亭で、23名の参加を頂いて開催されました。

第一部の研修会では、当会の高橋宮雄監事が「国酒、日本酒を極める」との演題で登壇され、代表的銘酒3本の喇叭会やお酒に関するクイズが行われました。喇叭会はまず銘柄入りの3本を試飲し、その後予め3本の透明の小瓶に移されたこれらのお酒を味わって銘柄を当てるというものですが、皆さん自信満々に回答したのに正解者はただの2人だけ、日本酒の奥深さを思い知らされました。



第二部の忘年会は名取副会長の乾杯で始まり、大いに飲み、食べ、語りあつて、神野顧問のご挨拶でお開きとなりました。



ふる里のおみやげに

塩・い・倉 十印

〒999-0121 山形県東置賜郡川西町上小松 1574
電話 0238(42)3044・FAX 0238(42)3144

かわにしのいいものを集めた「かわいい」

かわにし 森のマルシェ

野菜・くだもの・手芸品
レストラン

山形県東置賜郡川西町中小松2534
TEL 0238-42-6664
営業時間 9:30~18:00
定休日 第4水曜

もち御膳もやってます

会報第100号を記念し、故郷を偲ぶ企画を掲載しました。お楽しみ下さい。

おらほの言葉

挨拶・会話	おはよさま	おはようございます	なづき	ひたい
	おばんになった	こんばんは	おとげ	あご
	ござったがあ	いらっしゃいますか	あくど	かかと
	ござつとごえ	おいで下さい	・あんばいわり	具合が悪い
	ぶちょうほう	失礼します・不得手	がおる	体が弱る
	んだんだ	そうだそうだ	おがった	成長した
	ほんねごで	違うよ	ちみで	冷たい
	ほどごで	そうです	かんじる	寒い
	ほどほど	そうだそうだ	おぶる	背負う
	ししゃね	知らない、しょうがない	か(ん)ます	かき回す
	じよさね	簡単だ	汽車からおじる	列車からおりる
	なじょでやった	具合はどうですか	しょってけろ	背負って下さい
	しょうしごど	恥ずかしい	たがく	手に持つ
	おしょうしな	有難う	つきあらう	顔を洗う
家族等	おごえ	下さい	なげろ	捨てなさい
	くっとごえ	召し上がり	ねまる	座る
	おだぢしてけろ	もう一杯召し上がり	まっちえろ	待っていて
	にしゃどさいぐな	貴方はどこにいくのですか	みぎさむじる	右に曲がる
	おじんちゃ	祖父	ぶっかける	真っ直ぐ行く
感情	おばんちゃ	祖母	もっかえる	倒れる
	おんつあま	おじ	おらえ	私の家
	〇〇あんにや	兄、近所の目上の男性	うっしょのえ	後ろの家
	〇〇あね	姉、近所の目上の女性	むかさり	花嫁
	いだましい	もったいない	さなぶり	田植え終わりの祝宴
その他	うだで	うつとうしい	かっきり	稻刈り終わりの祝宴
	くたまだ	邪魔だ	じっこ	おしつこ（幼児語）
	こわい	疲れた	ばっこ	うんち（幼児語）
	けなり	うらやましい	むぐすな	洩らすな（幼児語）
	めんごい	可愛い	ぼっこっちゃ	壊れた
	えさる	偉ぶる	ぼっこつまた	雪が詰まった
	やんだごどー	いやだな	かだっぽ	片方
	たいがいにしろ	いいかげんにしなさい	にどえも	じゃがいも
	ごしゃがれる	叱られる	きんな	昨日
	ごしゃげる	腹が立つ	でろ	どろ
	たわえもないごど	つまらないこと	※ 地域によって若干ニュアンスが異なる場合	
	そんぴん	へそ曲がり	がありますが、ご容赦下さい。	

埼玉地区行事・第二回蕎麦打ち体験会へのお誘い

昨年初めて、渡部副会長所属の道場で蕎麦打ちを体験しました

が、渡部さんは昇段試験の審査員でもあり、経験したことのない日本最高の蕎麦を御馳走になりました。あの感動は今も続いています。お住まいの地域に関係なく募集しますので、蕎麦を食べて、お酒を飲んで、一緒に楽しく過ごしませんか。お待ちしております。

時・令和8年2月21日

10時30分加須駅北口集合
14時解散

所…分桜流 彩次郎 蕎麦打ち道場

埼玉県加須市久下2・31-2
JR久喜で東武伊勢崎線乗り換え、3駅先の加須駅北口集合

会場は駅から1.8キロなので、タクシーに分乗して向かいます。

講師…渡部隆夫副会長

会費…三千円

人員…20人を募集します。

申込期限…2月6日（金）

申込先…事務局長の鈴木までご連絡下さい。

鈴木茂連絡先

電話・ショートメール

090-4952-3397

事務局だより

新会員のご紹介

井上与一様 小平市在住（飯豊町）

皆様、明けましておめでとうございます。未広がりの八年の始まり、万事良くなると決めて、悠々と進みたいと思います。

昨年、熊スプレーを買いました。秋川でいも煮会を開催した場合、匂いに誘われて乱入してくる可能性がゼロではないと考え、また、玉庭の山の中に帰省する場合、必須アイテムと考えてネット購入したものです。

熊の知能は犬とチンパンジーの間くらいだそうで、襲いかかるようにフェイントをかけてこちらの出方を見極めたり、敵の急所である顔を集中的に攻撃したりと、確かに他の動物とは頭が違うなと思わせられます。

また、町に出てくる個体は山の中で縄張りを追い出されたからとの俗説も、実は縄張り意識がなく、食糧のある場所には複数の個体が重複して出現することもあるそうで、一晩で何十キロも移動してしまうのに広大な地域を縄張りとして確保するのは無理でしようから頷けます。

連日届いていた町からの熊出現情報も、いつの間にか来ないようになりました。昨年はブナもミズナラも

昭和62年の椿山荘での設立総会、この年から続く芋煮会と研修会、翌年の玉庭会発足、平成13年には創立15周年記念の盛大なシンポジウムと祝賀会。

平成16年からは神奈川、埼玉、東京の各地区行事が始まっています。平成18年には創立20周年記念の式典と特別公演、芋煮会での小松豊年獅子踊りがあり、平成21年には千葉地区も地区行事を開催しています。

会長も、当初からの黒澤悟郎画伯から平成5年に米野宗禎顧問へ、平成14年に神野民夫顧問へ、平成19年に笹木俊雄顧問へとバトンが引き継がれ、平成26年に現森田会長が就任されています。

誌上に中学時代の恩師や高校時代のマドンナを発見したのには驚きました。本当に沢山の先輩のご努力により今日が迎えられていることに感謝の思いは尽きません。これからも微力を捧げていきたいと思います。



町のFBから転載

東京川西会 会報 No.百号
発行「アルカディアの里」 東京川西会
発行責任者 会長 森田光雄
編集者 事務局長 鈴木茂
TEL・FAX 048-725-3349
携帯TEL 090-4952-3397

埼玉県上尾市小敷谷一〇五八・七一